

平成27年（2015年）の安達太良山の火山活動

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

地震活動、噴気、地殻変動に特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2015年の発表履歴

2015年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

○ 2015年の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～5、図6-①）

若宮に設置している遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

1月14日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、2014年1月20日と同様に沼ノ平火口付近に噴気は観測されず、地熱域¹⁾にも大きな変化は認められませんでした。

また、10月9日に実施した現地調査では、2012年7月19日と比較して、沼ノ平火口の地表面温度分布¹⁾などに特段の変化は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図6-②～④）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図7、9）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

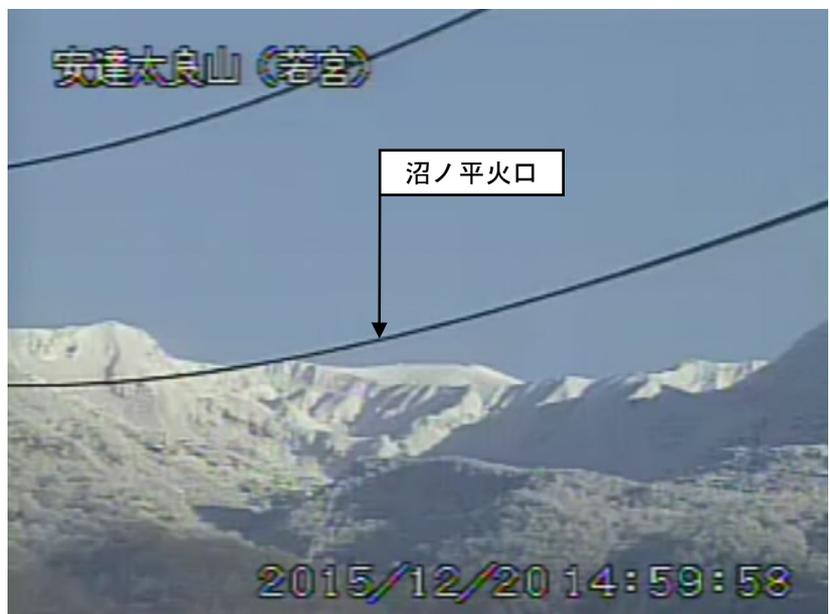


図1 安達太良山 沼ノ平火口
周辺の状況（12月20日）

- ・若宮（沼ノ平火口の西北西約8 km）に設置している遠望カメラの映像です。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料は、気象庁のデータの他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

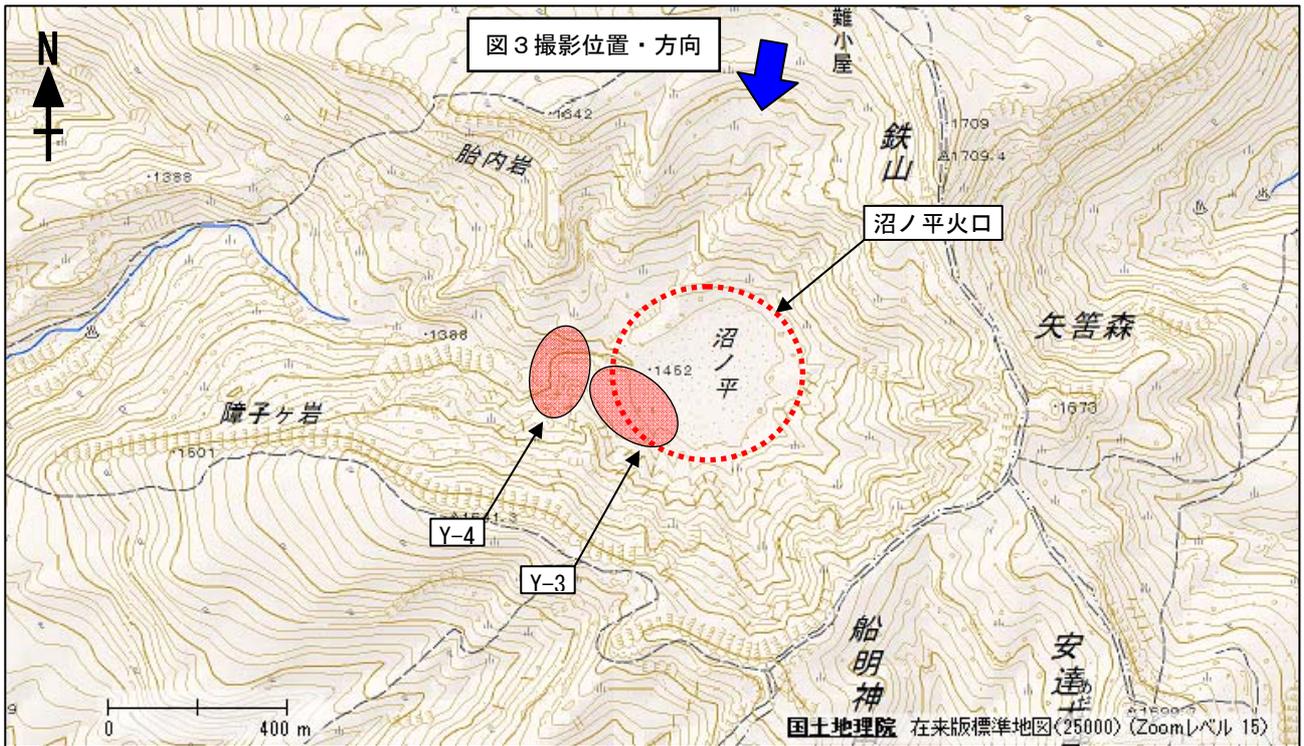


図2 安達太良山 地熱域の分布及び上空からの写真と地表面温度分布の撮影位置・方向

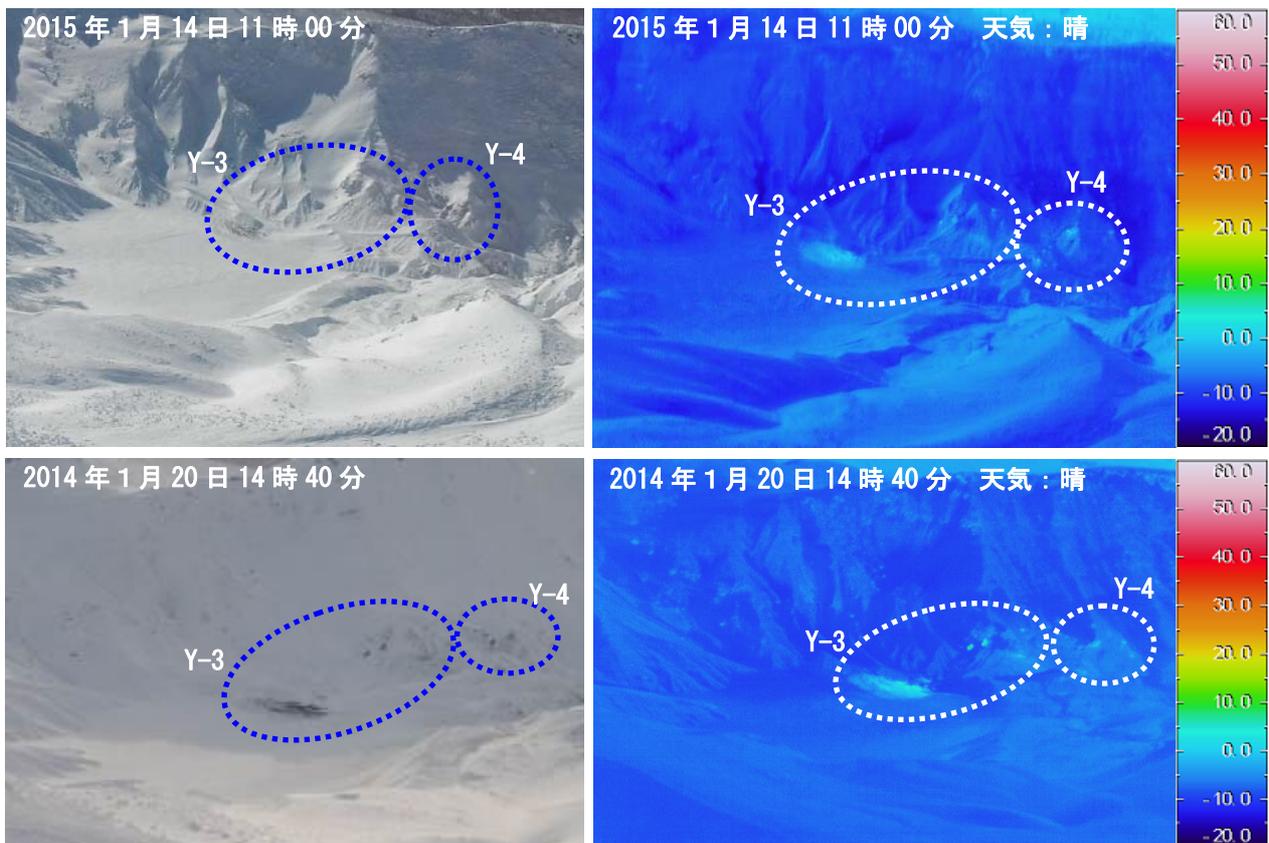


図3 安達太良山 沼ノ平火口 (Y-3、4) の状況と地表面温度分布

- ・陸上自衛隊の協力により撮影しました。
- ・2014年1月20日と比較して、地熱域に特段の変化は認められませんでした。

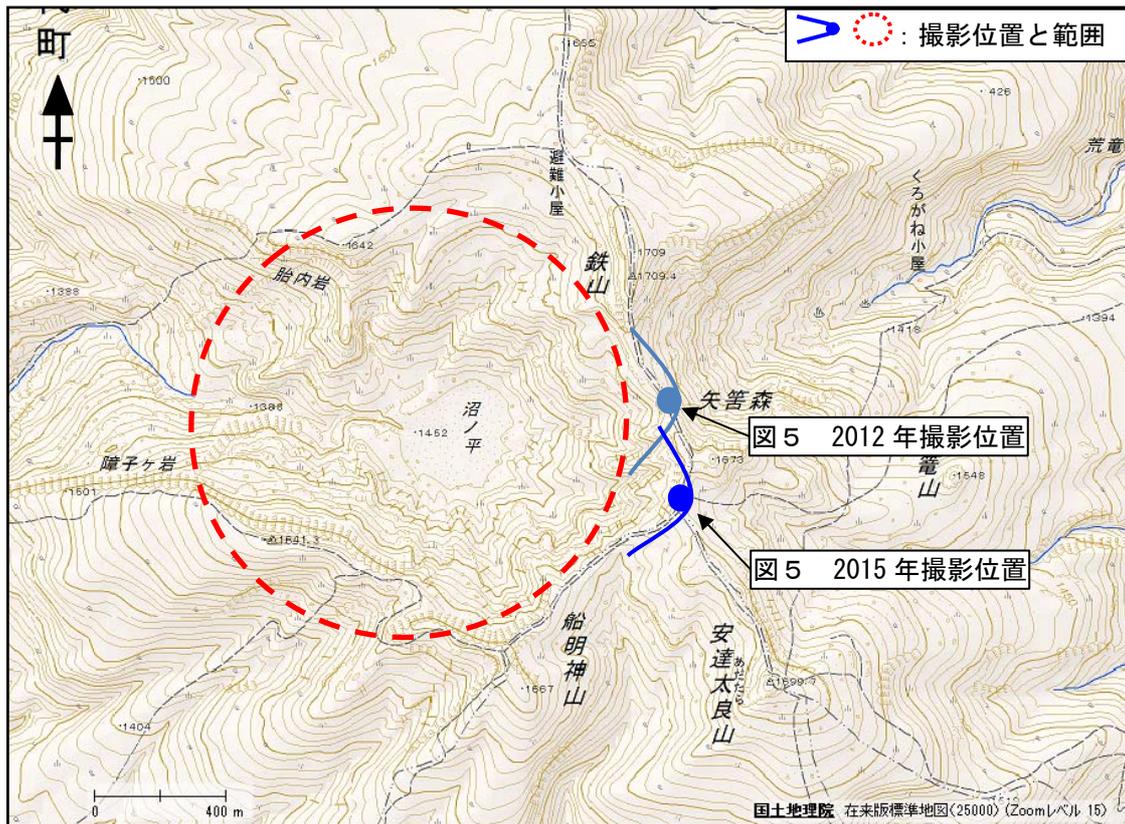


図 4 安達太良山 沼ノ平火口の写真と地表面温度分布撮影位置

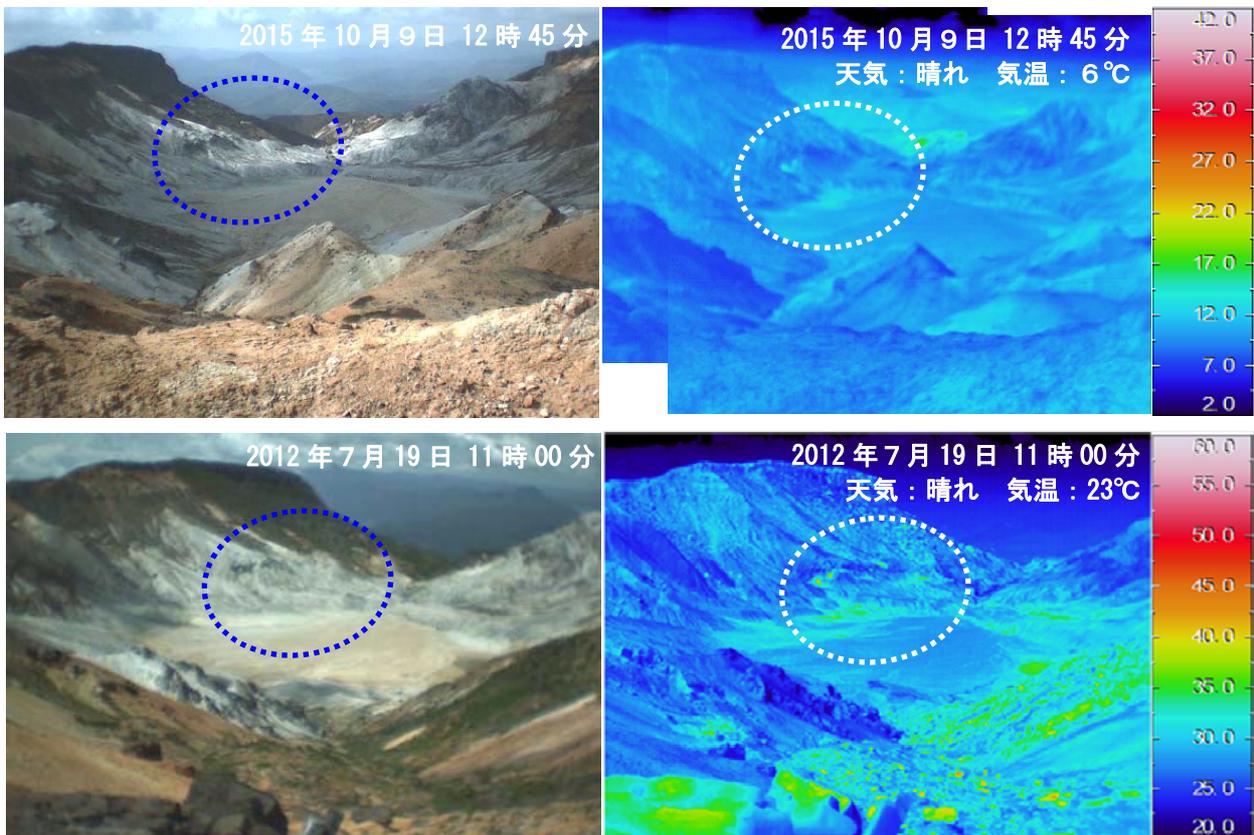


図 5 安達太良山 東から撮影した沼ノ平の状況と地表面温度分布

- ・ 2012 年 7 月 19 日と比較して、地熱域（白破線内）の状況に特段の変化はみられません。
 - ・ 2012 年と撮影位置が異なります。
- (※地熱域以外の周囲より温度の高い部分は、岩などが日射により暖められたことによるものと推定されます。)

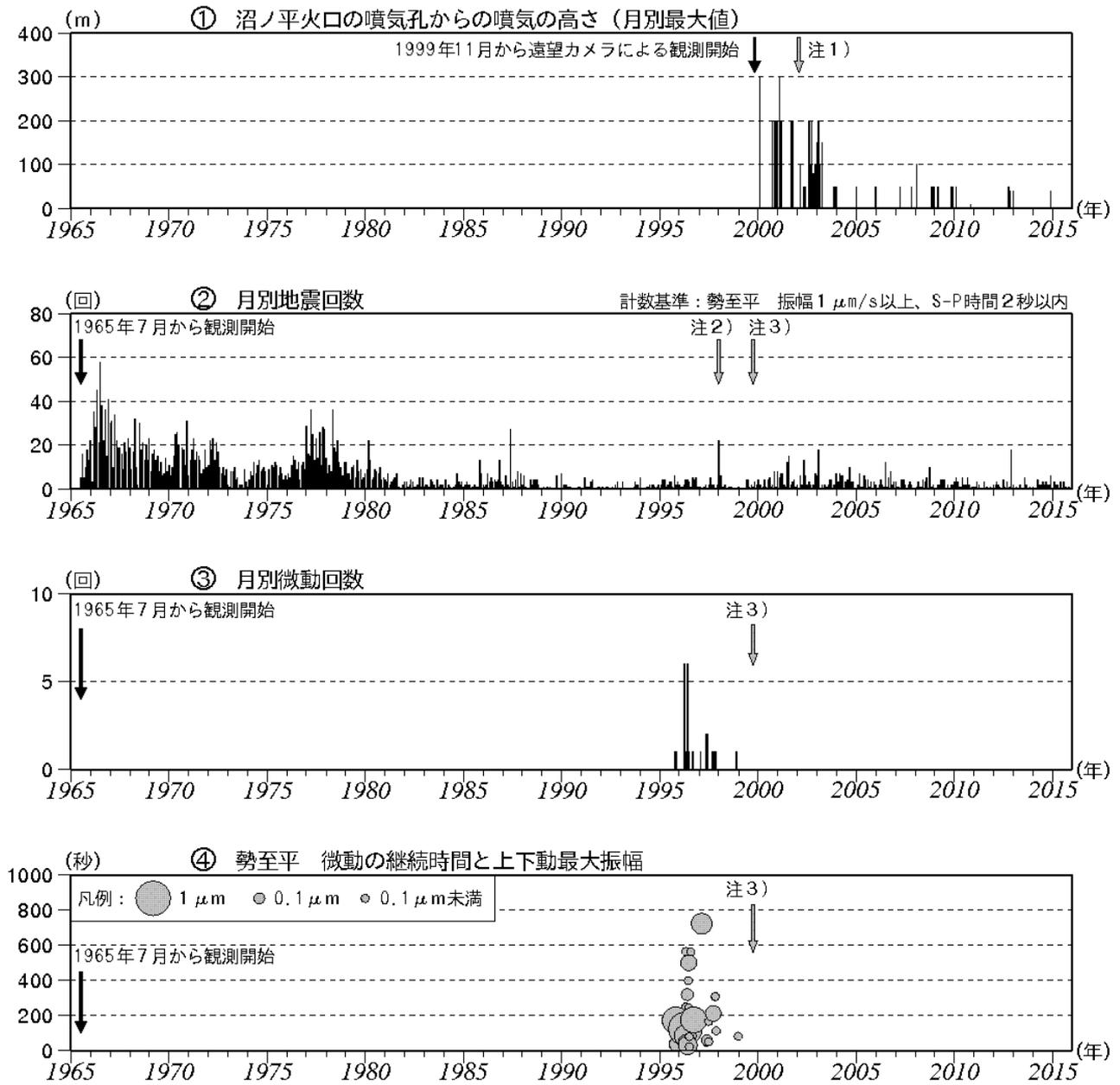


図6 安達太良山 火山活動経過図 (1965年7月~2015年12月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。
- ・②~④注3) 1999年10月に基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から新設した勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

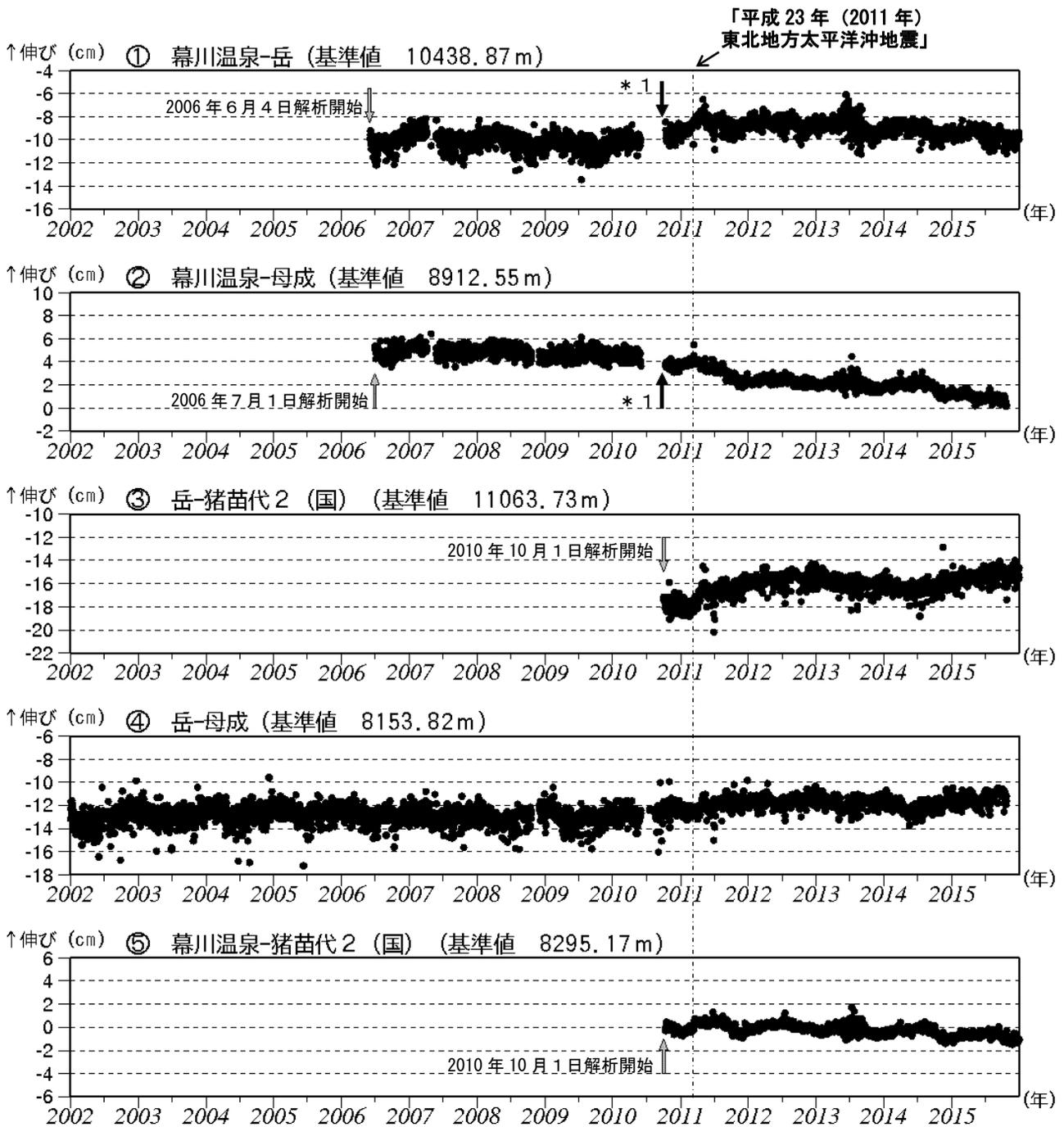


図7 安達太良山 GNSS²⁾ 基線長変化図 (2002年1月~2015年12月)

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

- ・今期間は火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。
- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①~⑤は図9のGNSS基線①~⑤に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

* 1 : 幕川温泉観測点の機器を更新しました。

(国) : 国土地理院



図 8 安達太良山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の
観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

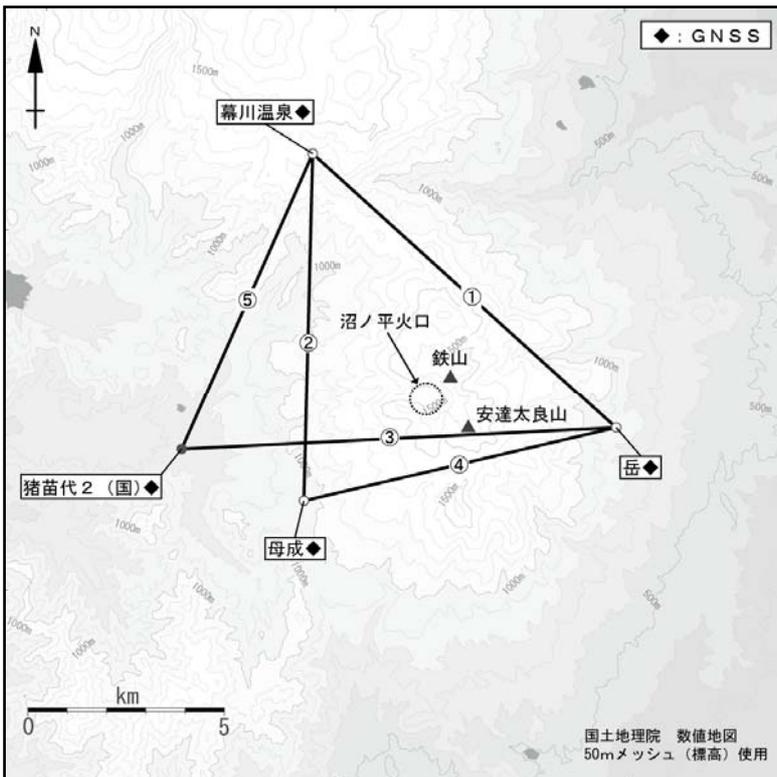


図 9 安達太良山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、
小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の
観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

表 1 安達太良山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)			
地震計	勢至平	37° 38.05'	140° 18.21'	1320		1999.10.22	短周期 3成分
	沼尻山甲	37° 37.29'	140° 13.68'	890	-99	2010.9.1	短周期 3成分 ポアホール型
空振計	勢至平	37° 38.1'	140° 18.2'	1320		1999.10.22	
	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	3	2010.9.1	
傾斜計	沼尻山甲	37° 37.3'	140° 13.7'	890	-99	2011.4.1	
	幕川温泉	37° 41.1'	140° 14.6'	1288	8	2001.11.1	2010年6月2日: 2周波に更新
GNSS	母成	37° 36.2'	140° 14.5'	967	6	2001.11.1	2周波
	岳	37° 37.3'	140° 19.9'	902	8	2001.11.1	2010年6月3日: 2周波に更新
遠望カメラ	若宮	37° 39.3'	140° 11.6'	820		1999.11.1	